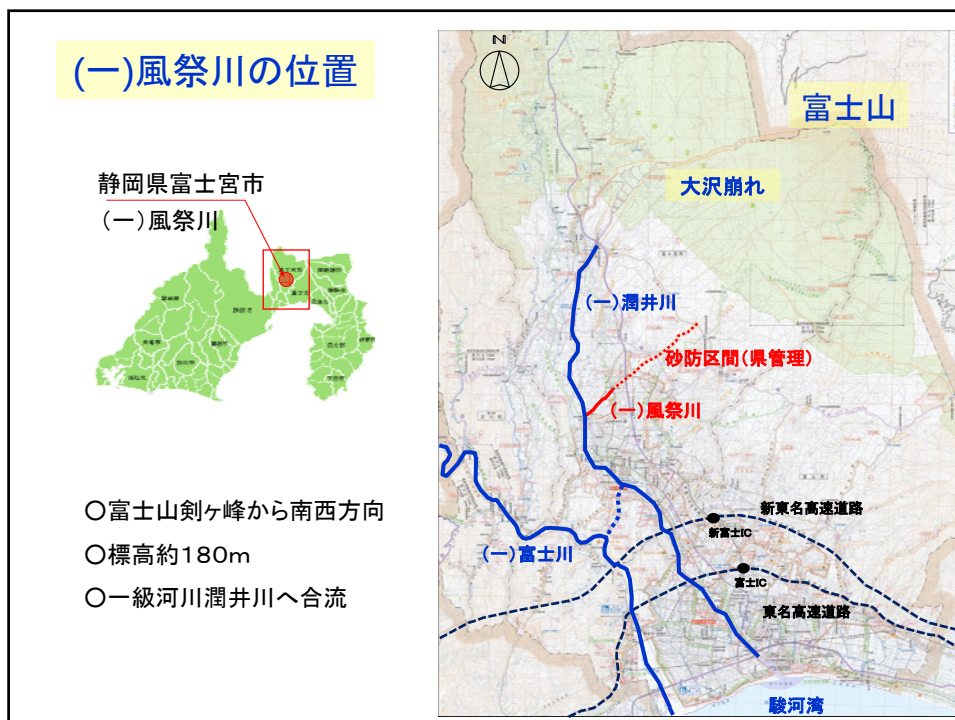
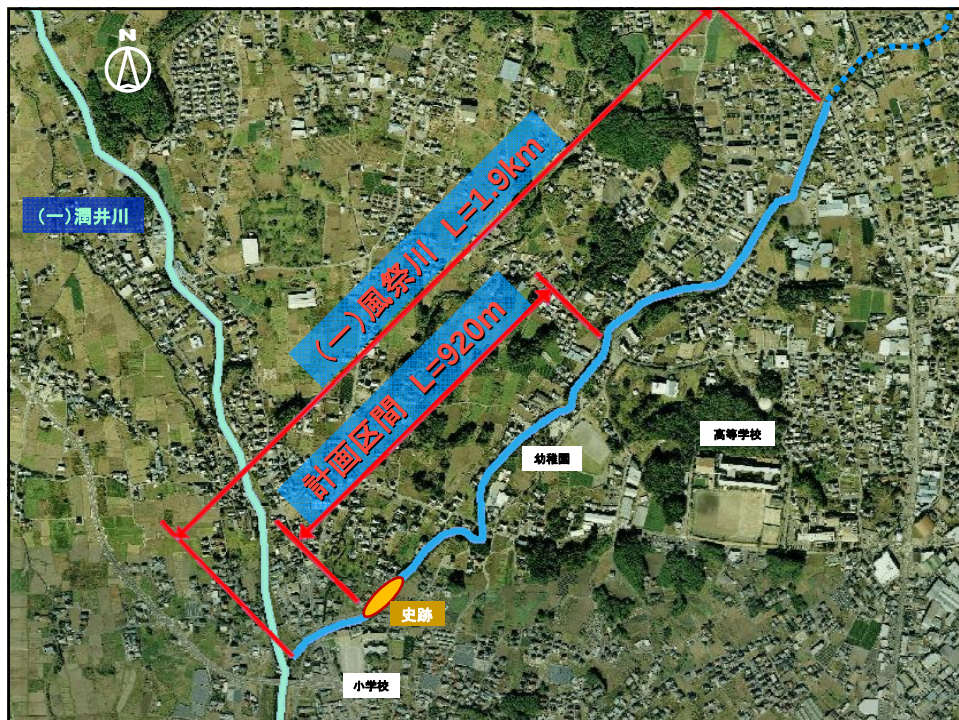






(一) 風祭川の特徴

- 住宅地を流れる河川
- 潤井川合流点から1.9kmが(一)風祭川として静岡県が管理。
- 上流は砂防溪流として静岡県と国土交通省で管理。
- 流域面積は42km²で、ほとんどが富士山の溶岩や火山性の噴出物に覆われた傾斜地。
- 河床勾配が1/30～1/50という急流河川。
- 降雨時には短時間で水位が上昇し、すぐ下降。
- 昔から暴れ川として知られており、しばしば氾濫や背後地の浸食を繰り返してきた。
- 過去に災害復旧事業などにより部分的に護岸改修が行われてきた。
- 平成7年度から920m区間の整備を行っている。



風祭壇址の概要

左岸を「男神石」、右岸を「女神石」と云い、この「男神石」が、天下泰平、五穀豊穡を祈念した風祭の壇址
(女石は洪水により流失)



- 風神を祭って暴風雨による災難防除・五穀豊穡の祈願
- 「風祭川」の名称の由来となった
- 10個の石で構築された祭壇で風祭の神事を行った
- 室町時代から盛大に行われてきたが、近年は衰退
- 保存して後世に伝承したい声が高かった

風祭神事に関する資料

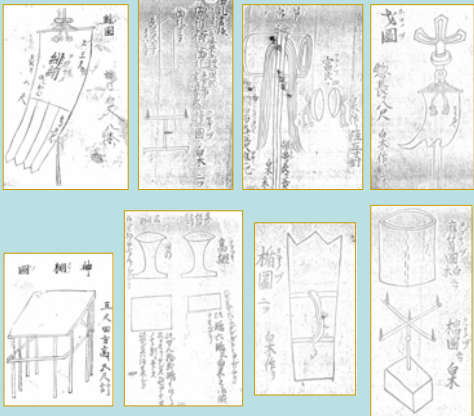
宝剣「純鈎亭」



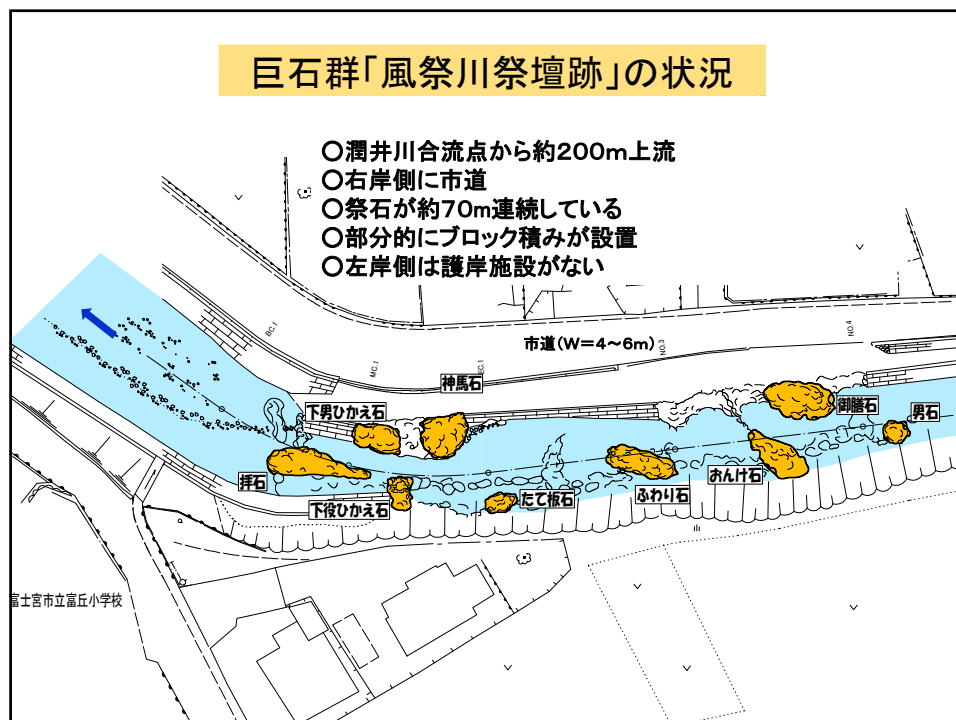
古文書

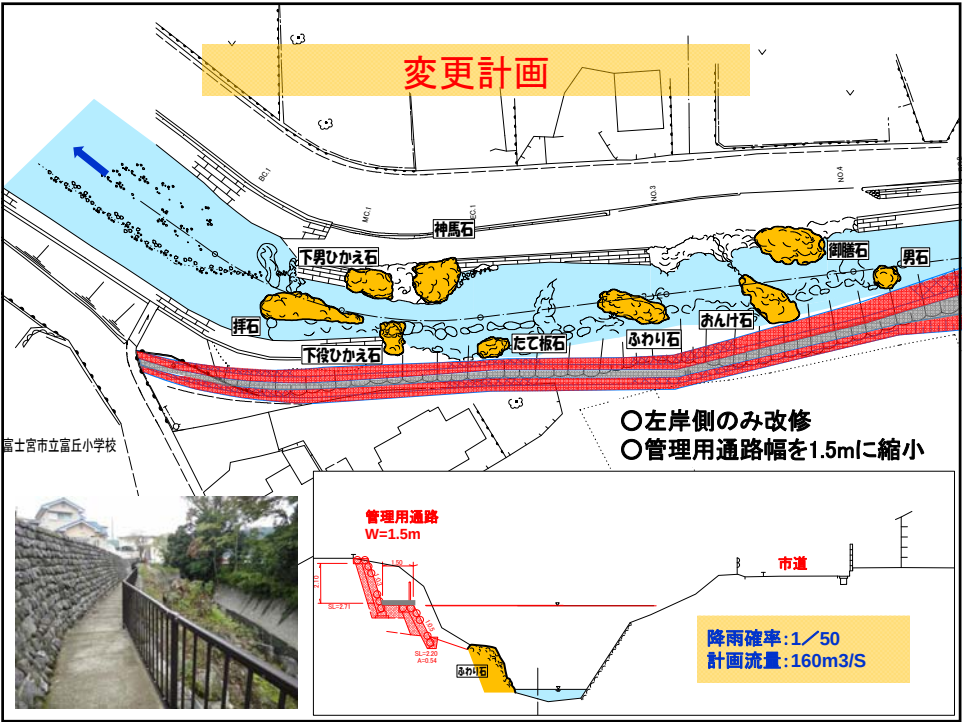
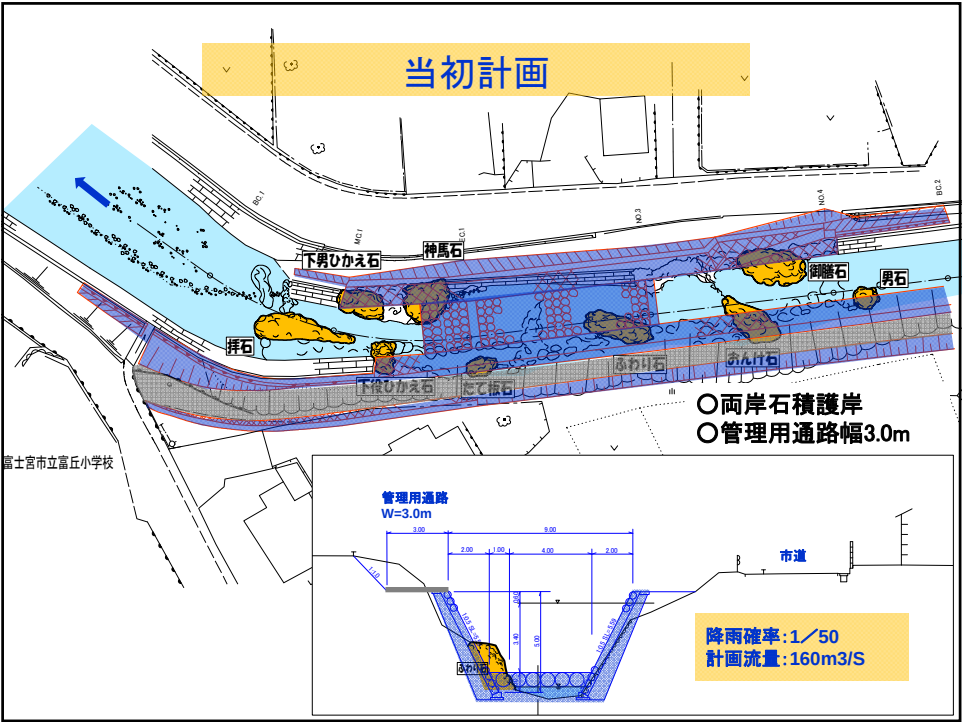


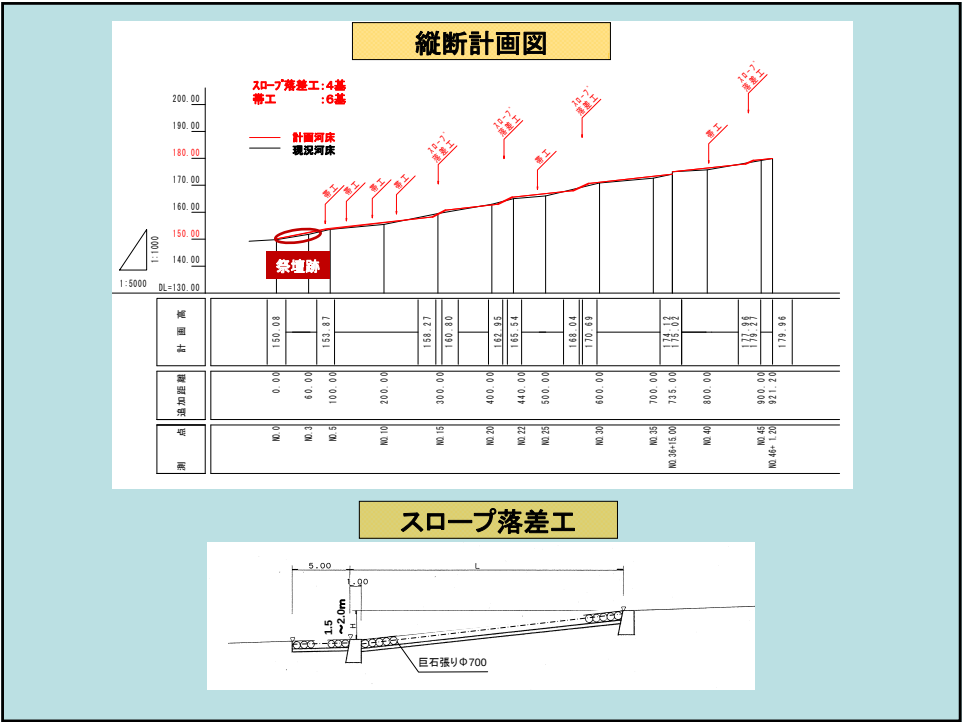
祭式配置図



祭式祭具の紹介













毎年12月に行われる祈願祭



川の清掃活動

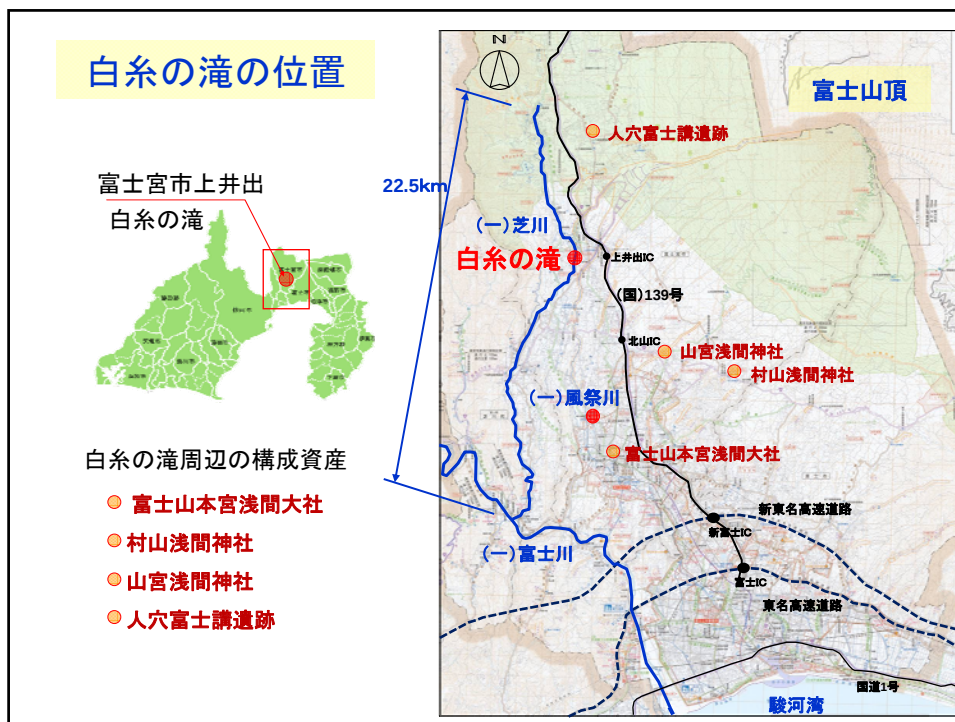


しめ縄の張り替え



一級河川芝川「白糸の滝」





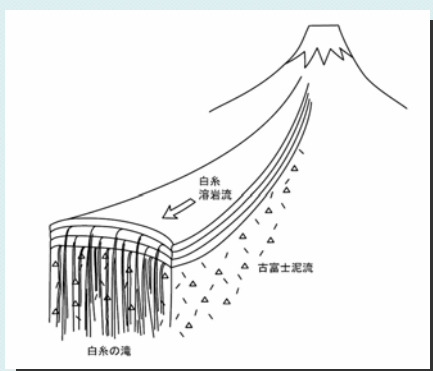
「白糸の滝と山護講」

(文京ふるさと歴史館提供)

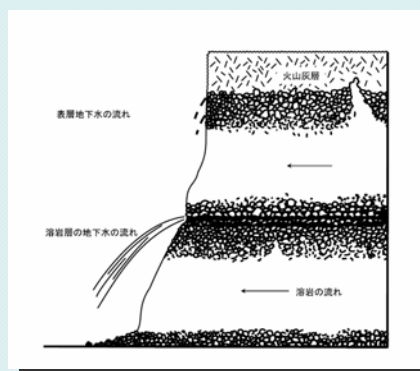
世界文化遺産の構成資産「白糸の滝」整備について

1. 白糸の滝の価値と現状について
2. 整備に向けた取り組み
3. 静岡県が行った河川整備について
4. 富士宮市が行った周辺整備について
5. 河川整備後の現在の状況

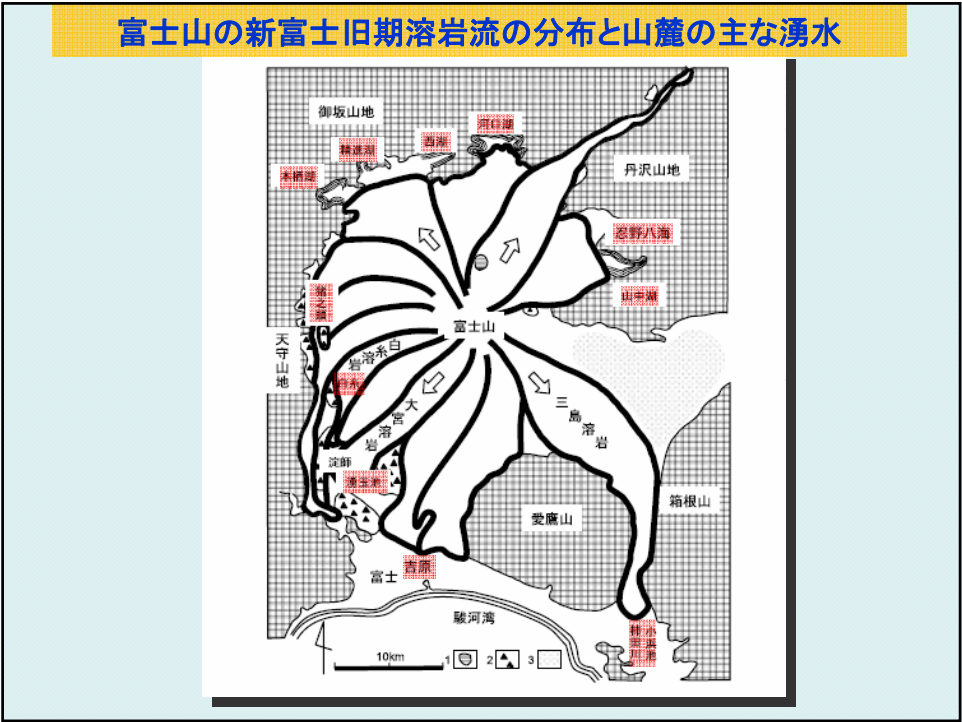
白糸の滝湧水のメカニズム



白糸の滝湧水のスケッチ図



玄武岩溶岩層の間のクリンカー部分に地下水が充満し、末端から押し出される湧水の模式図



整備に向けた取り組み

- 平成22年3月 名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」第二次保存管理計画策定
- 平成24年3月 名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備基本計画
- 平成24年7月 名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備委員会設置

名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備委員会委員		※五十音順
天野 光一	日本大学理工学部教授	景観工学
池邊 このみ	千葉大学大学院教授	景観論、環境計画
佐野 貴司	国立科学博物館研究主幹	地質学
関 文夫	日本大学理工学部教授	土木工学
(委員長) 土 隆一	静岡大学名誉教授	地質学、地下水
渡井 正二	富士宮市文化財保護審議会会長	近世史、民俗
渡邊 定元	元東京大学教授	生態、環境

整備基本計画での基本理念

- 風致景観の向上
滝の眺望を阻害する人工物等を排除し、本質的価値が享受できる風致景観の整備を行う。
- 本質的価値の共有
広報、情報提供を広く行い、富士山の文化を学ぶ場、育む場として活用する。
- 安全性、快適性の確保
来訪者の安全性・快適性を向上させる。

11の整備項目

- ・早急に行うもの
- ・中長期的に取り組むもの

- ① 滝つぼ内の人工物(売店、倉庫、落石防護柵等)の撤去
- ② 周辺景観に調和した河川整備(県施行)
- ③ 橋梁整備(滝見橋)
- ④ 展望場の整備
- ⑤ 階段整備
- ⑥ 案内サイン等の整備
- ⑦ 回遊性を持った歩経路整備
- ⑧ 生態系(植栽、土砂の撤去等)の保全・復元
- ⑨ 便益施設の整備(ガイダンス施設、公衆トイレ、公園、休憩場、売店ゾーン)
- ⑩ 電柱・電線の撤去
- ⑪ 車両と歩行者の分離

整備基本計画での河川整備の方針

白糸の滝の眺望視界に入る部分で、既存の人工的護岸については除去に努めるものとする。
また、改修、現状回復を行う場合は、規模・形態・色彩・材質等において周辺自然景観に調和し、風致景観に配慮した最小限の整備を行う。

河川整備における設計条件

- ① **治水・安全性の確保**
滝つぼからの流下で水衝部あたる箇所は、過去の洪水等により護岸の破損や河床洗掘が発生しているため、しっかりとした対策を図る必要がある。
- ② **風致景観の向上**
河川内に存在するコンクリートが目立つ人工構造物は出来るだけ取り除くと共に、新たに整備する護岸は、コンクリートが見えない構造とする。
また、滝つぼ周辺を昔の風景に戻す。
- ③ **快適性の確保**
来訪者が水辺に近づけるような親水性を持たせた護岸構造とする。



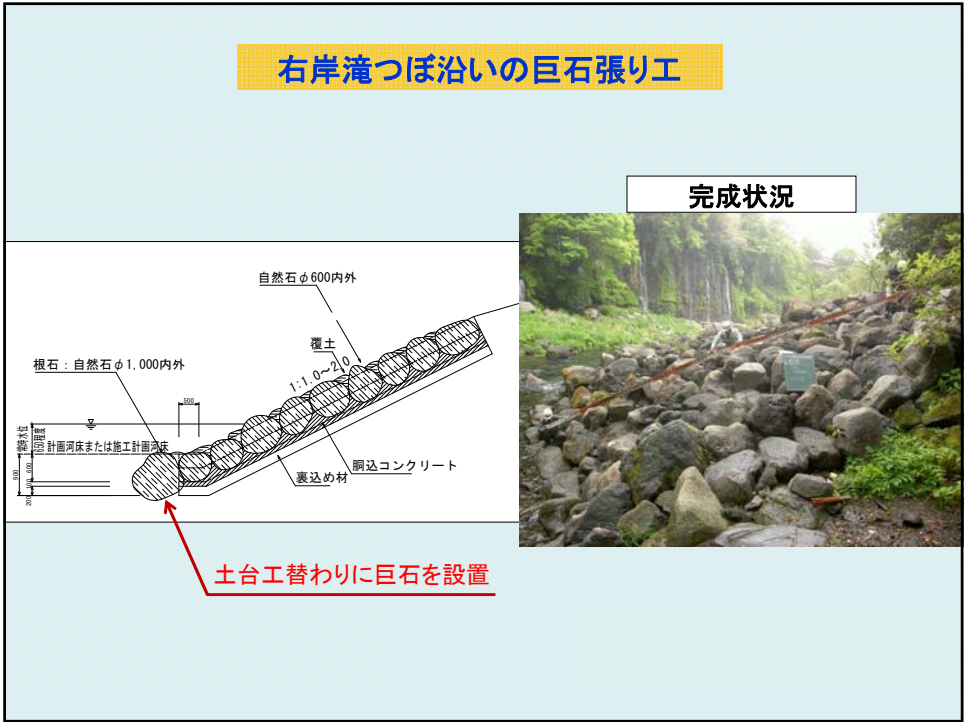
完成イメージ図



滝見橋より上流を見る

白糸の滝への分流点

















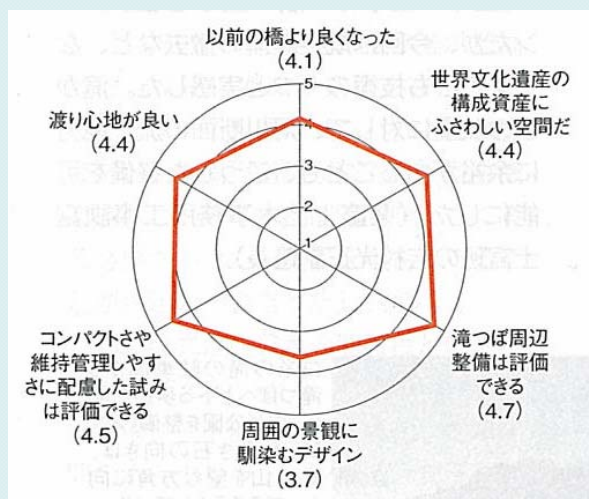








工事完了2ヶ月後の来訪者の評価



日経コンストラクション(2014.3.10)

現在の状況(施工1年後)







